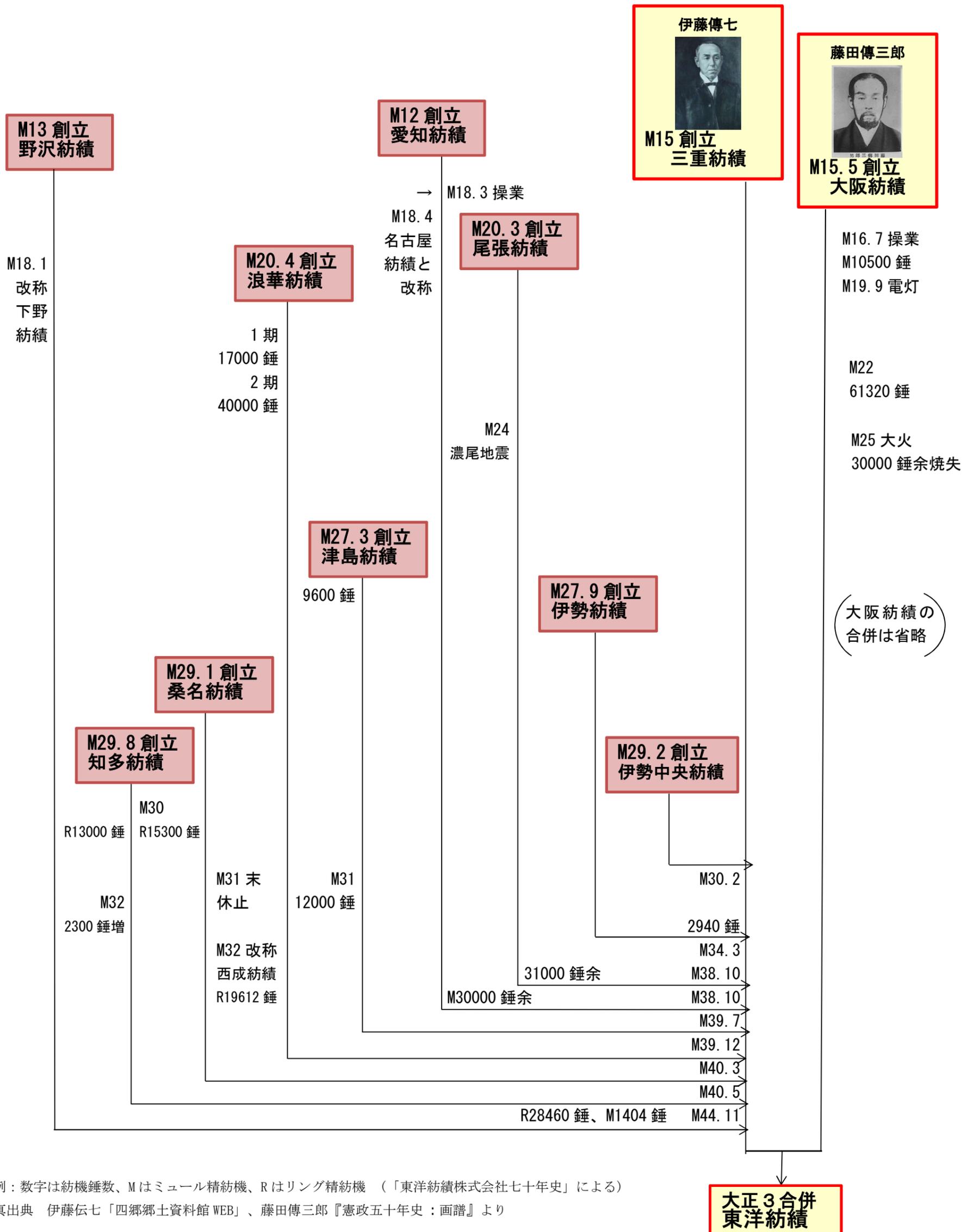


三重紡績の合併成長の系譜と大阪紡績との合併→東洋紡績へ

明治 28(1895)年の全国紡績会社は 47 社、同 33 年には 79 社になった。結果生産過剰となり小規模社は経営不振となった。綿紡同業会は合併を奨励した。合併には資本系統によるものと、経営上や立地的な事情によるものとあるが、三重紡績の場合は主として後者による。



凡例：数字は紡機錘数、Mはミュール精紡機、Rはリング精紡機（「東洋紡績株式会社七十年史」による）

写真出典 伊藤伝七「四郷郷土資料館 WEB」、藤田傳三郎『憲政五十年史：画譜』より